

# リンフリー製品で攻勢

## 来春に金属表面被膜剤

貴和化学薬品（大阪府豊中市）は、リンフリー製品で攻勢をかける。来春市場投入予定のリンフリー金属表面被膜剤は排水やスラッジの削減だけでなく、生産性向上やリン酸亜鉛被膜と同等以上の耐食性能を有している。多様な金属の種類で安定した仕上がりを実現できるため、ユーザー側で金属の種類ごとに設備投資する負担も軽減できる。新たに投入したリンフリーで低温処理タイプ

の脱脂剤などと合わせ、リンフリー関連製品を自動車や家電業界などに提案、3年後に売上高1億円を目指す。

リンフリー金属表面被膜剤は電着や粉体、焼き付け塗装の下地処理剤で、シリコンウム系成分に加え無機系酸化剤成分と有機系添加剤を配合しており、重金属は非含有。電着塗装の場合、リン酸亜鉛被膜の付着量が1平方分当たり約2分の1に比べ、10分の1の量で同

等の耐食性を発揮する。エッチングが少ないためスラッジ量を2割以下に軽減でき廃棄コストも削減可能。浸漬とシャワーの両方に対応できる。

リン酸亜鉛被膜は結晶が数分厚で均一な膜形成のために処理前に表面調整が必要になるが、同製品は化成する結晶が5ナノメートル程度で塗膜密着性が高いため表面調整が不要となり、脱脂後に成膜工程へ移行できる。また、リン酸亜鉛被膜は金属ごと

にカスタマイズするが、同製品は鉄材やアルミ材、亜鉛メッキ鋼板まで幅広い金属に対して安定した品質を発揮する。

近畿経済産業局支援の下、大阪市立工業研究所と共同開発中で、基礎研究が終了している。来年3月末までに量産技術の確立を目指し、来春をめぐりに「フェロナイス P Fシリーズ」として販売を開始する予定。

また、リンフリーで低温処理が可能な脱脂剤も開発した。スプレータイプの「アルキレンSPF01」と浸漬タイプの「アルキレンDPF01N」をラインアップしている。排水処理や省エネによる

製造コストが下げられるとして、開発中の表面被膜剤と併せて拡販する。